

令和元年度 自己評価書及び学校関係者評価書

1 本年度の重点目標

「自ら向き合い、学び合う子ども」の育成

2 本年度の経営方針

○学ぶ力の育成 ○豊かな心の育成 ○健康でたくましく生きる力の育成 ○信頼される学校

3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学ぶ力の育成	基礎基本の定着を図るため、自ら学ぶ学習習慣づくりを推進する。	A	にーごプロジェクトを活用して、体験的、問題解決型学習の充実を図る。 また、TTや少人数指導を通して、個の能力に応じた学力の向上に努める。 漢字を書く力だけではなく、使える力を付けていく。 まほうのかいわを各家庭に啓発し、学習習慣づくりを推進する。	A	A
	主体的・対話的で深い学びの充実を図る。	B	国語、算数、道徳を中心にした教科研究の推進を通して、「分かる・できる・楽しい」授業の構築に努める。	B	A
	自己の学びを振り返り、次への目標を生み出す取組の充実を図る。	A	日常の学習の中で、学びの足跡が分かるような記録をしていく。 また、新学習指導要領における進路探究学習(キャリア教育)の充実を図り、子どもたちが活動を記録し、蓄積するキャリアパスポートの活用を図る。	A	A
	関係者による意見	子どもたちが、授業の中で居場所を感じ、学ぶ楽しさをめざす具体的提案が適切に評価されている。			
豊かな心の育成	学年の発達段階に応じて、場に合ったあいさつや言葉遣いなどが身に付く指導に努めている。	A	児童委員会や異学年交流を活用して、挨拶や言葉遣いの指導に努める。 ふだんの学習の中で、適切な言葉を用いて発表や交流を行い、話し合い活動の充実を図る。	A	A
	道徳を計画的に取り組み、人と人とのかかわりを大切に活動した活動を実施している。	A	異学年交流(なかよし活動)や児童委員会、クラブ活動を通して、ふだんとは違った友達との交流を図る。 道徳の学習の中で話し合いを多く取り入れ、人と人とのかかわりの中で理解を深めたり、考え方を広げたりする。	A	A
	関係者による意見	子どもたちが、社会で自立していくために必要な「真の学ぶ力」を身に付けた工夫など適切に評価されている。			
健康でたくましく生きる力の育成	体力向上に向けた環境づくりの充実を図る。	A	体力向上への意欲を図るために、体力向上週間(SASUKE)を設け、子どもたちが取り組みやすい環境を整える。	A	A
	運動、食事、睡眠への意識向上を図る。	A	地産地消やフードリサイクルについての指導、食指導の充実を図る。 また、心身の健康を保持増進し、自他の生命を大切にする指導の充実を図る。	A	A
	関係者による意見	体力作りのための環境改善や意識向上等が適切に評価されている。			
信頼される学校	学校便りや学年便り等のお便りや、学校ホームページなどを通して、学校情報の発信が効果的に行われている。	A	ホームページをはじめ、学校便りや学年便りなど様々な形で情報を発信していく。ホームページの定期的な更新をするなど、教育活動が保護者や地域の皆さんに的確に伝わるよう効率的な発信を行っていく。	B	A
	地域や保護者と連携した教育活動が効果的に展開されている。	A	今年度は、生活実態調査も行い、学校教育に生かせるように取り組んできた。各学年では、出前授業やボランティア活動など様々な形で保護者や地域の皆さんのご協力をいただきながら学校教育を進めてきた。次年度も継続して進め、より充実した教育を目指したい。	A	A
	関係者による意見	学校や家庭、そして地域の方々と情報を共有して、地域性を生かした学校経営が適切に評価されている。			